

第23回大会

平成14年8月7日～8日

男子：那須野ヶ原カントリークラブ 女子：東那須カントリークラブ
／男子38校、女子16校



女子は東海大二（熊本）が第12～15回大会の堀越（東京）に並ぶ、史上2校目の4連覇の偉業を達成。男子は千葉学芸（千葉）が史上最多6度目の優勝を狙った強豪・水城（茨城）に5打差をつけ初優勝を飾った。

4連覇の行方は最後まで分からなかった。最終18番パー5。グリーンに立つ井芹美保子（2年）をメンバーが祈るように見つめる。5打差の2位でスタートした東北（宮城）が迫っており、誰もが「もう逆転されている」と思っていた。パット直前、小差でリードしていることを知ると、全員が手を合わせた。視線の先にある井芹がウイニングパットを沈めてバーディー。チームトータル429。猛チャージをかけた東北を3打差で振り切った。歓喜の渦の中、伊藤龍志監督がうなづく。「よう勝った」。

70、71と2日続けてアンダーパーをマークした田中美弥子（2年）の活躍もさることながら、優勝の立役者はこの日から出場した1年生の上田桃子（1年）だった。開会式が行われた夜、腰に激痛が走り救急車で病院に運ばれた。初日は補欠に回り、最終日も痛み止めを打ってのラウンド。ショットが定まらず、15番パー5では第1打を左の林へ打ち込んでしまう。それでも見事なアプローチで4メートルにつけバーディーを奪うなど、トータル72のパープレー。同組の東北・宮里藍（2年）にプレッシャーをかけ続けた。「藍ちゃんを見ないようにした」。うれし涙の先輩たちの横で1年生の顔には満足感が溢れていた。

出場した5人全員が1、2年生。デッドヒートでの勝利を経験した5人は自分たちの手で、史上初の5連覇への夢をつないだ。

男子は創部3年目の千葉学芸がうれしい初優勝を飾った。初日を終えて、5打差の間にトップタイの千葉学芸、水城を筆頭に、沖学園（福岡）、埼玉栄（埼玉）、佐野日大（栃木）、柳川（福岡）など9校がひしめく大混戦。その中から千葉学芸が抜け出した。関東アマ2位などの実績を誇る池田勇太（2年）が1番でバーディーを決め好スタート。好プレーの連続で前半33。先輩でありライバルでもある佐藤達也（3年）も意地を見せ前半34で回り、他校の息の根を止めた。

前年は初日に首位タイに立ちながらも、最終日に失速、5位に甘んじただけに、前半で勝負を決めた池田は「チームのみんなが安心して後半を回れるような結果を最初に出せてよかった」と安堵の表情。最後は鈴木重樹監督の「ありがとう」の言葉にチーム全員と応援に駆けつけた父兄たちはうれし涙に包まれた。



◇男子成績

①千葉学芸（千葉）428（218・213）

尾居 博英② 142（70・72）
佐藤 達也③ 142（73・69）
池田 勇太② 144（72・72）
野際 聡介③ 152（73・79）

②水城（茨城）433（215・218）

東家 賢政② 142（70・72）
羽生 淳一③ 142（71・71）
後藤 拓磨③ 152（77・75）
高橋祐太郎③ 154（74・80）

③東北（宮城）434（216・218）

依田 利之③ 143（71・72）
土屋 陽平③ 144（71・73）
早坂 俊彦② 147（74・73）
沖津 裕基② —（—・78）
佐藤 雄太② —（84・—）

④沖学園(福岡) 437(219・218)	②東京学館浦安(千葉) 459(230・229)
⑤佐野日大(栃木) 441(218・223)	②大阪桐蔭(大阪) 460(231・229)
⑥埼玉栄(埼玉) 441(216・225)	②興譲館(岡山) 462(235・227)
⑦鹿島学園(茨城) 441(220・221)	②日大一(東京) 468(237・231)
⑧香川西(香川) 442(219・223)	②中京(岐阜) 470(235・235)
⑨明德義塾(高知) 445(225・220)	②近大付(大阪) 471(235・236)
⑩駿台甲府(山梨) 446(225・221)	②稲取(静岡) 472(239・233)
⑪滝川二(兵庫) 448(223・225)	②広陵(広島) 474(237・237)
⑫柳川(福岡) 448(218・230)	②岐阜三田(岐阜) 479(242・237)
⑬札幌光星(北海道) 449(226・223)	②作新学院(栃木) 480(236・244)
⑭長崎日大(長崎) 453(231・222)	②仙台育英(宮城) 482(241・241)
⑮北海道尚志学園(北海道) 455(228・227)	②星陵(静岡) 485(242・243)
⑯平安(京都) 456(223・233)	②慶応高(神奈川) 486(240・246)
⑰日体荏原(東京) 457(232・225)	②春日丘(愛知) 488(238・250)
⑱横浜商大高(神奈川) 457(228・229)	②関西学院(兵庫) 489(242・247)
⑲美濃加茂(岐阜) 458(237・221)	②札幌商(北海道) 489(251・238)
⑳大宮開成(埼玉) 458(225・233)	②宮崎日大(宮崎) 503(246・257)
㉑瀬戸内(広島) 459(235・224)	

◇女子成績

①東海大二（熊本）429（216・213）

田中美弥子② 141（70・71）
井芹美保子② 145（75・70）
青山 加織② 148（71・77）
上田 桃子① —（—・72）
辻崎香穂里② —（77・—）

②東北（宮城）432（221・211）

宮里 藍② 139（69・70）
和田委世子② 142（74・68）
菰田 依未③ 153（78・75）
神谷 恭子② —（—・73）
関 舞① —（79・—）

③北海道尚志学園（北海道）438（221・217）

三島菜津子③ 142（71・71）
吉岡 奈見③ 146（75・71）
本多 弥麗③ 150（75・75）
境 琴美② —（—・82）
高林 由美① —（76・—）

④沖学園(福岡) 439(223・216)	①仙台育英(宮城) 484(249・235)
⑤近大付(大阪) 443(221・222)	②厚木北(神奈川) 487(251・236)
⑥埼玉栄(埼玉) 443(224・219)	③久居(三重) 495(251・244)
⑦明德義塾(高知) 444(225・219)	④千葉学芸(千葉) 521(273・248)
⑧堀越(東京) 466(238・228)	⑤愛知啓成(愛知) 533(275・258)
⑨立正(東京) 466(238・228)	⑥三田尻女子(山口) 656(324・332)
⑩滝川二(兵庫) 472(240・232)	

※名前の後の丸数字は学年。各学校各日上位3人の合計スコア。タイスコアの場合は、2日目の4人の合計スコアで順位を決定。さらに同数の場合は、初日の4人の合計スコアで順位を決定。